

真宗佛光寺派
大阪教区・
別院だより

大悲

第14号

平成26年(2014年)
7月1日 発行



人情あふれる「新世界」

最近「嘘、偽り」に関する報道が多い。前東京都知事や野党前党首の献金疑惑、ゴーストライターに作曲させていた自称作曲家、STAP細胞に関する論文のデータ捏造疑惑、パソコン遠隔操作による誤認逮捕事件など。

「嘘、偽り」の問題は確かに多く発生しているのだろうが、この手の報道を好む人々が多いからこそ、マスメディアはこぞって「嘘、偽り」の事件を報道したがるのではないかな。

何故この手の報道を人々は好むのだろうか？ 私たちは他人の「嘘、偽り」の事件が裁かれることに一種無責任な爽快感を感じ、溜飲を下げているのであろう。しかし本当に問わねばならないのは「嘘、偽り」の私ではあるまいか。

親鸞聖人のお言葉で言えば「そらごとたわごと、まことあることなし」が私自身の現実。そのような私の現実を照らし、人生の真実を明らかに教えてくださるまことの言葉にふれることが、人生の只中で教えに出遇うということであろう。

(佐々木太一)

と う ひ が ん 到 彼 岸



～大阪別院
彼岸会法話より～

高照寺 すみや としき 隅谷俊紀

ご主人を亡くされたご門徒のAさん。
その中陰のお勤めでの出来事です。

お茶をお給仕

「真宗では、お茶をお給仕しないと聞いたのですが……」。お勤めのあと、何か困惑したご様子で質問されたので、その理由をお聞きしてみました。

「主人は亡くなるまでの数週間、手術の影響で口から水分を取ることができ

ませんでした。日頃からお茶が大好きだったので、中陰壇にお茶を置いてあげたいのですが」と。

「そういうことでしたら、納得できるまで、置いてくださっても結構ですよ」とお答えしました。

般若心経をお勤め

次の週、Aさんはこうおっしゃいました。「真宗では、般若心経をお勤めしないと聞いたのですが……」。これまた困惑したご様子でお話しされました。

「私の母は、子どもの頃、学校に行けなかったので、文字の読み書きができませんでした。でも晩年、独学で、実家でお勤めする般若心経を読めるようになったのです。今、般若心経をお勤めすると、亡くなった母と会話しているような気がします」と。

「そういうことでしたら、般若心経をお勤めしてくださっても構いませんよ。

でもお母さまが晩年お経を覚えられたように、少しずつお正信偈をお勤めしていきましょう」とお答えしました。

真宗では……

「真宗では、お茶をお給仕する必要はありません」「真宗では、般若心経をお勤めする必要はありません」と、言い切ることは簡単です。しかし「真宗では……」と言い切ることが、本当の意味で真宗の教えといえるのでしょうか。

真宗の教えをいただくとは、人の気持ちをつなぐことではありません。人の痛みに寄り添い、共感して生きることの大切さが、お念仏を通して知られるのです。

(平成25年9月26日勤修の

大阪別院彼岸会法話より)



如^{によ}是^ぜ我^が聞^{もん}

見るとこ変わる佛光寺

大阪教区・光明寺 吉田^{よしだ} 譲^{ゆずる}師



いたそうです。

賊徒に会えば、我われなら逃げようとして背中を切られます。上人は顔を切られています。ことから、逃げることもなく、そのままの姿勢でおられたと想像できます。これはお念仏とともに堂々とした覚悟で最期を迎えられたお姿ではないか、と推測され、「お念仏とわがいのち」という問題を考えさせられるお木像であるとお話ししていただきました。

上人のお姿を通して、念仏相続という大切な役割を私たちは担っていると感じました。

(寿栄松正顕 記)



了源上人の頭像

平成26年3月13日、佛青研修会が開催され、吉田譲師より、意外と知られていない佛光寺のお話をお聞きしました。その中で佛光寺の中興の祖である了源上人についてのお話に心を惹かれました。

了源上人像

本山大師堂にある了源上人像の胎内には、上人のご遺骨の他に、小さな頭部だけの木像(写真、全長15cm程)が納められています。「なぜ、このような像が中に納められてい

るのか」との疑問から、いろいろな想像が膨らんだそうですが、昭和三十三年の調査時には「これはおそらく、この頭像を元にして、上人の像をお作りになったのではないか」という結論にいたったそうです。

デスマスク

ところが近年、東京文化財研究所・津田徹英氏が論文を発表され、この頭像は試作品ではなく了源上人のデスマスク、つまりお亡くなりになっ

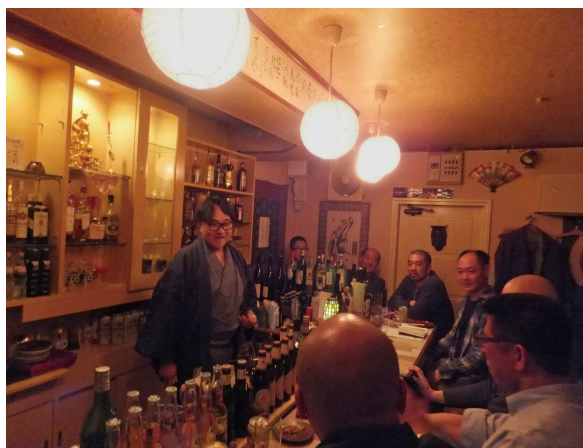
た時の姿を刻んだものであると結論づけられました。

上人は都に帰る途中、七里峠にさしかかった時、お念仏の教えをねたんだ賊徒の待ち伏せにあい命を落とされます。

吉田師が調査に同伴されてわかったことは、頭像の顔には煤^{すす}が付けられて血糊が表現され、右眉毛の上には刀で割られた痕が、さらに顔を横に切られた痕があるとのことでした。実際、ご遺骨の頭蓋骨部分には刀傷があり、そこには刀の鉄成分由来の錆がついて

大阪探検

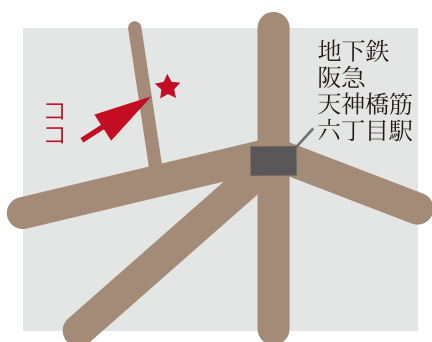
おおさかぼうず ぼー 大坂坊主BAR



清住職(左)と大悲の会のメンバー



坊主 BAR の看板



大阪市北区本庄東 1-3-5
地下鉄・阪急「天神橋筋六丁目」
11号出口より徒歩2分
電話 080-4027-6040
営業時間 18時～23時
定休日 月・祝日
URL <http://www.vowsbar.com/>

坊主BARを運営しておられる清史彦(釋秀頭)住職は、京大でラグビー部の主将もつとめられ、丸紅勤務を経て、大阪市平野区の真宗大谷派瑞興寺に入寺されます。お寺での「ひらの聞思洞」という集いで、仏教を聞き、お酒を飲みながら自分を語り合う場をもったことが坊

主BARを開くきっかけになったそうです。「敷居の高いイメージがあるお寺ではなく、BARという形で、いろんな人たちが自在で水平な出逢いをしていく、自分が自分を生きている実感ができる、そんな場を提供できたら」とお話しくださいました。

坊主BARの誕生

「天神橋筋六丁目(天六)駅のほど近くに大坂坊主BARがあります。「坊主BAR」の発祥は大阪の日本橋で、その後、心斎橋に店を構えていました。そして現在では東京や京都などにも展開し、今から一年半ほど前にこの地で開業しました。

お酒を飲みながら

大坂坊主BARには住職をはじめ、十名ほどのお坊さんが日替わりで八時頃からボランティアで来られます。お客さんには若い女性も多く、職場や恋愛、人生の悩みを仏教を通して語り合うそうです。大坂坊主BARではその他、写経の会や今逢パーティーなども催されています。詳しくはHPなどをご覧ください。

(門川崇志)

全国の

ごえんさんを訪ねて

ほうえんじ

法圓寺 (新潟)

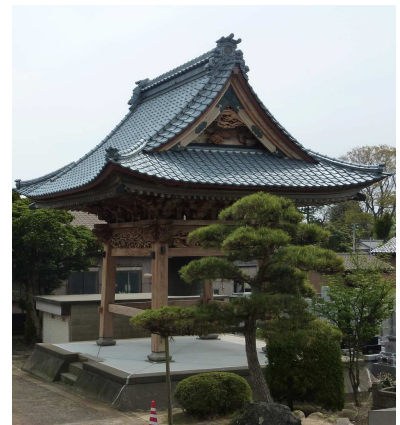
なしもと てつや

梨本哲哉 住職



法圓寺本堂

法圓寺は長禄二(一四五八)年九月三日創建と伝えられ、元禄元(一六八八)年、第八世・肇胤住職の時、佛光寺派に属されました。創建以来、幾度となく坊舎本堂等焼失しましたが、念仏相続のため、門信徒一丸となって再建復興を重ねてくれました。昨年も長年の風雪に傷んだ鐘楼の大修復をし、弥彦村の文化財として後世に誇れる修復を成し遂げられました。これもひとえに門信徒皆様のご理解とご協力のお蔭であると喜んでおられます。



大修復された鐘楼

佛光寺の教学の要

佛光寺の教学についての重要な諮問機関として学匠寮がくしやうりやうがあります。が、ご住職はその責任者である学匠寮長でもあり、夏安居げあんごの本講として講師を務めておられます。

講義の内容は難解だけれど、物腰柔らかく、また優しく話されて安居懸席者からも人気です。

今春、若院さんが龍谷大学大学院修士課程を修了し、自坊で法務に専念されています。

若院さんと、大阪の報恩寺から嫁がれた坊守さんが自坊の留守を

守っておられるので、今後の本山での重責が期待されています。

ただ、若院さんの月参りは住職よりお勤めが丁寧なのか、一軒あたり一時間以上かかることが気がかりだそうです。でも本当のところは「嬉しく楽しみである」と笑顔で話されていました。



坊守さん(左)と若院さん(右)

テレホン法話を開設されています。

TEL 0256 (94) 5692

(葦名 彰)

■法圓寺 (ほうえんじ)

〒959-0311

新潟県西蒲原郡

弥彦村矢作1960

電話 0256-94-2238

Fax 050-3321-2476

大悲トピックス

■新組長紹介

大阪教区各組の組長が決定しましたのでご紹介します（敬称略）。

- ▽第1組・佐々木太一（常光寺）
- ▽第2組・白鷺洲秀信（福泉寺）
- ▽第3組・遠上正順（常念寺）
- ▽第4組・三上教道（本行寺）
- ▽第5組・菅野久光（本光寺）
- ▽第6組・隅谷俊紀（高照寺）

■新役員紹介

各会で総会が開催され新役員が決定しましたのでご紹介します（敬称略）。

法友会

- ▽会長・葦名 彰（妙圓寺）
- ▽副会長・中院秀昭（光源寺）
- ▽書記・隅谷俊紀（高照寺）
- ▽会計・佐々木太一（常光寺）
- ▽監事・寺田宗隆（報恩寺）
- ▽理事・白鷺洲秀信（福泉寺）

- ▽理事・遠上正順（常念寺）
- ▽理事・三上教道（本行寺）
- ▽理事・菅野久光（本光寺）

さつき会

- ▽会長・三義洋子（光照寺）
- ▽副会長・藤野眞子（光津寺）
- ▽書記・寺田真紀（報恩寺）
- ▽会計・佐々木晶子（常光寺）
- ▽監事・吉田智恵子（光明寺）

佛青懇和会

- ▽会長・寿栄松正顕（西光寺）
- ▽副会長・勝部正典（光圓寺）
- ▽会計・玉出宗順（光福寺）
- ▽書記・門川崇志（浄方寺）
- ▽監事・道野真弘（超願寺）

■懇志御礼

東京都台東区 西徳寺様
新潟県弥彦村 法圓寺様



燦ホールディングス グループ

なごみ庵

ま・た・は・あ

KITAHAMA

法要料理
希望の場所までお届けします。

- 四條畷店 ☎0743-78-7521
- 瓜破店 ☎06-6769-0140
- 伊丹店 ☎072-773-7531

※2012年5月現在 2-0132

御本山 近 用達

株式会社 川勝法衣店

フリーダイヤル 0120-075-055
(〒600-8344) 京都市下京区花屋町通小路東入

電話 (075) 371-0367(代)
FAX (075) 371-5088

御本山佛光寺御用達

井筒法衣店

〒600-8503
京都市下京区堀川通新花屋町角（西本願寺前）

フリーダイヤルTEL 0120-075-720番
フリーダイヤルFAX 0120-075-490番

株式会社 モントラベル

〒550-0013
大阪市西区新町1-8-1 行成ビル

TEL. 06-6531-1344
FAX. 06-6531-1346
<http://www.monto.co.jp>
仏跡参拝ならお任せください！

（株）小林造園

代表取締役：小林正典
〒603-8442
京都市北区西野山東町 36-1

tel 075-491-4256
fax 075-491-9432

燦ホールディングス グループ

まごころ葬儀を創造する。

公益社

公益社 ご葬儀相談センター (24時間・365日受付、通話料無料・携帯電話OK.)
0120-567-701
※2012年5月現在 2-0131

だいひ 絵日記

- 4月14日(月) 大悲の会編集会議(第14号読み合わせ)
 4月24日(木) 佛青懇和会総会 ①
 4月26日(土) 佛青懇和会研修会(雅楽講習会)
 5月16日(金) 大阪教区総会・法友会総会 ②
 5月21日(水) 大悲の会編集会議(第14号読み合わせ)(正念寺にて) ③
 5月28日(水) さつき会総会 ④
 5月31日(土) 佛青懇和会研修会(雅楽講習会)
 6月19日(木) さつき会研修会(蓬子お裏方様を偲んで・講師:福嶋崇雄 師)
 6月25日(水) 大悲の会編集会議(第14号発送作業・第15号内容検討)
 6月28日(土) 佛青懇和会研修会(雅楽講習会)



表具 八木米寿堂

御本尊掛軸修理 絵画、書の表装

〒600-8073

京都市下京区柳馬場通仏光寺上る

tel 075-351-2853 fax 075-352-3258

- 大正三年創業の信頼と実績 -

石留石材株式会社

各種石塔・石仏・記念碑
 寺社建築石材まで

○ご相談は下記フリーダイヤルへ 携帯・PHS OK

0120-53-5578

[本社・工場・展示場] 藤井寺市津堂2丁目9番29号

京
懐
石

和
光
菴

慶事、仏事、各種会合等の際は、
 和光菴の仕出し料理を
 御利用下さい。

株式会社 和光菴
 〒543-0073 大阪市天王寺区生玉寺町3-32
 TEL06-6774-8090 www.wakouan.co.jp

西天満店 結心(ゆいごころ)
 〒530-0047 大阪市北区西天満4-10-5 1階
 TEL06-6809-6311 www.yuigokoro.com

協 賛

法 友 会
 さ つ き 会
 佛 青 懇 和 会

和奏の会 翠笛会

寺院のイベントに邦楽(尺八・
 箏)出張演奏いたします。
 曲目はリクエストできます。

事務局: 阪南市新町 宝林寺
 電話 072-472-1414

<http://homepage2.nifty.com/suiteki/>

「大悲の会」御用達

鰯 鯖 さぐち
 旬魚菜

地下鉄御堂筋線あびこ駅前
 tel. 06-6696-6880

〒558-0011 大阪市住吉区荻田 7-5-20
 さつきマンション 1F



大阪教区・別院 行事予定



大阪別院（どなた様でもお参りいただけます）

8月13日（水）午後2時 孟蘭盆会

8月14日（木）午後2時 孟蘭盆会

8月15日（金）午後2時 孟蘭盆会

9月20日（土）午後2時 彼岸会

法話：脇阪義仁 師（霊松寺）

9月23日（火・祝）午後2時 彼岸会

法話：行友伸二 師（光宝寺）

9月26日（金）午後2時 彼岸会

法話：玉出宗順 師（光福寺）

法友会（住職会）

7月4日（金）午後6時半 研修会

講題：現代社会の中の真宗

講師：泉 英明 氏（文化時報 記者）

さつき会（坊守会）

7月24日（木）～25日（金）

本山坊守研修会（場所：本山佛光寺）

佛青懇和会（青年会）

7月7日（月）午後6時半 習字講習会

講師：佐々木太一 師（常光寺）

佐々木晶子 師（常光寺）

7月26日（土）午後6時 雅楽研修会

9月27日（土）午後6時 雅楽研修会

大悲の会（『大悲』編集会議）

7月23日（水）午後6時 編集会議

8月28日（木）午後6時 編集会議

9月25日（木）午後6時 編集会議

※場所明記のない行事は大阪別院で開催

編集 俊 紀

★『大悲』編集会議では、原稿を推敲すること
もすることながら、誤字・脱字がないかのチ
ェックに余念がありません。会議後も担当者
を決めてチェックしています。それでも最終
確認をしていただく教務所長や別院輪番にご
指摘をいただくこともしばしばです。見てい
るようで見えていないものなんですね。★では

『大悲』をご覧の皆さまに問題です。このペー
ジには1ヶ所「誤植」があります。おわかり
でしょうか？★「大悲の会」メンバー全員で、
「大坂坊主BAR」の取材に行ってきました
（4頁「大阪探検」参照）。お酒の好きなメン
バーばかりなので、原稿担当者以外は取材そ
っちのけで飲んでいたような…。（隅谷俊紀）

大阪教区・別院だより『大悲』 第14号

平成26年（2014年）7月1日発行（発行部数2100部）

発行：大悲の会

事務所：佛光寺大阪別院内

〒558-0011 大阪市住吉区荻田6-11-24 電話 06-6691-1362

郵便振替口座：口座番号「00990-4-305218」加入者名「大悲の会」

大悲ホームページ <http://daihi.org/>

大悲の会

長田 譲（会長）

隅谷俊紀（副会長）

寿栄松正頭（会計）

玉出宗順（会計）

門川崇志（監事）

佐々木太一

葦名 彰